

平成 29 年 3 月 31 日

株式会社山陰合同銀行

『しまね大学発・産学連携ファンド』第 3 号案件へ出資！

～島根大学発ベンチャー企業「株式会社農の郷」へ 159.5 百万円～

山陰合同銀行（頭取 石丸 文男）が島根大学発のベンチャービジネスを資金と経営の両面でサポートするために設立した「しまね大学発・産学連携ファンド」は、今般第 3 号案件として、下記の通り、『株式会社農の郷（みのりのさと）』へ 159.5 百万円を出資いたしました。

また、当行、地域金融機関、独立行政法人中小企業基盤整備機構、島根県を出資者とする「しまね中小企業未来への挑戦ファンド」も、20 百万円を協調出資いたしました。

『株式会社農の郷』は、アイメック栽培システムによって生産した付加価値の極めて高い農作物（主にトマト）やその加工品をブランディングし、県外の消費地を中心に多ロットでの販売を目指す企業です。

標記ファンドからの出資により、同社は島根大学と共同研究契約を締結し、研究シーズ（機能性、環境制御、肥料・堆肥化等）の積極活用を図るとともに、ハウス・栽培システムといった設備投資を行います。また、自治体等と連携を図り U・I ターン者の雇用創出や 6 次産業化による加工品の開発を行うことで、産学官金連携による地域での新産業の創造に取り組みます。

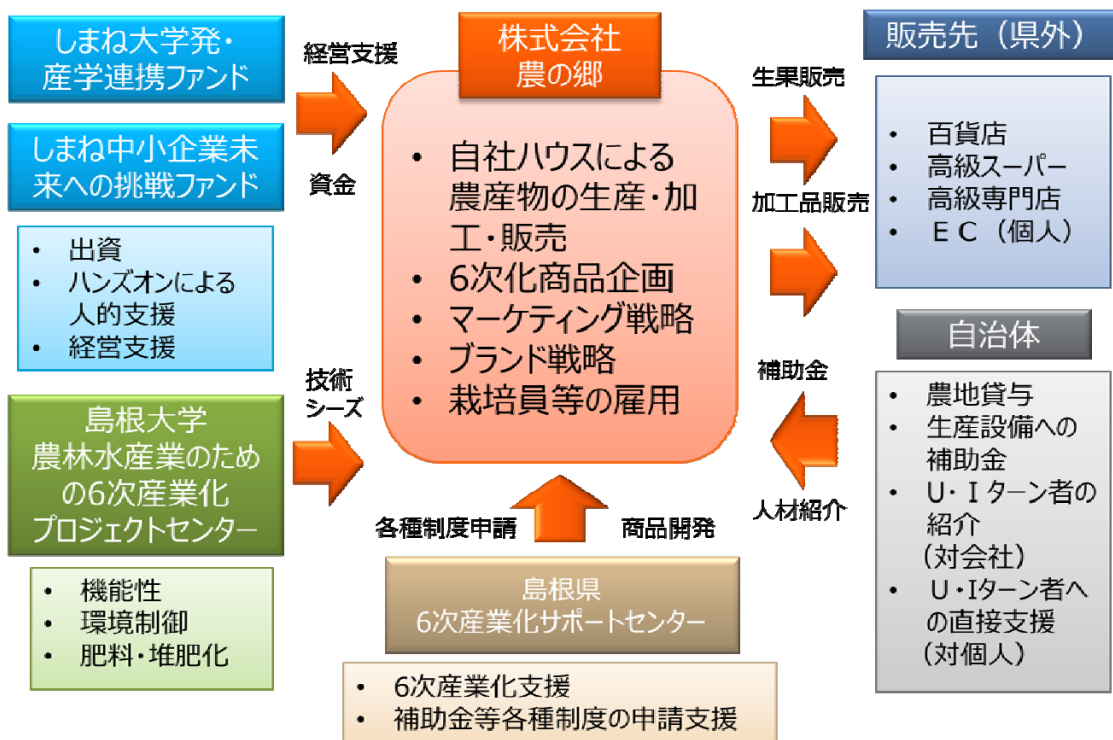
山陰合同銀行は平成 26 年 12 月 19 日付で島根大学と締結した「大学発ベンチャー等支援に関する協力協定書」に基づき、島根大学と民間企業による共同研究などの産学連携活動を推進しています。そのツールとして、標記ファンドを積極的に活用することで、やる気のある経営者、新たなビジネスに挑戦する起業家の熱い挑戦を応援しています。そして、今後も地域経済の活性化をはじめとした地方創生の諸施策に積極的に関与して参ります。

記

【出資先の概要】

商 号	株式会社農の郷（みのりのさと）
所 在 地	島根県安来市安来町 886 番地 3
代 表 者	代表取締役 難波 晋
事 業 内 容	農産物の生産・加工販売

【連携機関のイメージ図】



【ファンドの概要】

名 称	しまね大学発・産学連携ファンド
ファンド総額	10億2千万円
投資対象	①島根大学の研究シーズを基にした起業 ②島根大学の研究シーズを技術移転し事業化を図る既存企業
出 資 者	山陰合同銀行 ごうぎんキャピタル REVIC キャピタル
ファンド 運 営 者	ごうぎんキャピタル REVIC キャピタル
設 立 日	平成 27 年 1 月 1 日

【しまね大学発・産学連携ファンド 出資実績】

出 資 先	出資金額 (百万円)
PuREC 株式会社	80
株式会社なかうみ海藻のめぐみ	90
株式会社農の郷	159.5
合 計 金 額	329.5

以 上